

令和5年度一般財団法人富山市大沢野健康文化推進財団の事業報告について

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、事業者や個人の判断で感染防止対策を実施しながら社会経済活動との両立を図っていくこととされました。

当財団においても「市民の健康増進と福祉活動の機会と場所を提供し、市民の健康意識の高揚及び市民福祉の向上を図る」ため、基本的な感染防止対策を継続しながら各種事業を実施してまいりました。

富山市大沢野健康福祉センターにおいては、令和5年度は休館することなく、通年営業することができました。利用者数では、前年度比13.0%増の274,616名(令和4年度:243,003名)の利用となり、元年度比89.2%(元年度:307,934名)とコロナ禍前の状況に近づいてまいりました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、利用中のお客様への被害はありませんでしたが、余震に備えるとともに施設等の安全確認のため営業を中止いたしました。なお、施設等にも被害はなく、翌日からほぼ通常営業を行うことができました。また、今回の地震をきっかけに地震対応マニュアルの詳細を整備いたしました。

富山市大沢野老人福祉センターにおいては、前年度比17.6%増の24,541名(4年度:20,873名)となったものの、元年度比55.0%(元年度:44,624名)と大きく落ち込んだままとなっております。

総利用者数は、施設全体で299,157名(4年度:263,876名)の皆様にご利用いただきました。

当財団では、令和3年度から令和5年度までの指定管理者の指定を受け、富山市大沢野健康福祉センター・富山市大沢野老人福祉センターや富山市大沢野地域スポーツ施設・都市公園等の適正な管理運営に努めてまいりました。

財団設立の目的に沿って、市民の健康保持・増進とスポーツの普及振興を図るため、各種の事業を計画・実行し、広域的にPRしながら安全で快適な施設管理の充実を図り、施設利用者の増加を目指して、様々な健康づくり事業や利用者へのサービスの向上と業務の効率化に努めてまいりました。

毎年、大変多くの皆様にご利用いただいているものの、施設の老朽化に伴う修繕箇所増加や燃料費の高騰、物価高などが重なり、維持管理費のさらなる増大により厳しい経営環境が続いております。

このことから、中・長期的な経営改善計画に基づき、さまざまなコスト削減に努めるととも

に、計画的な施設・設備の点検・修繕、各種の健康教室やイベント・キャンペーン等を実施するなど一層の経営改善策を実施し健全経営に努め、引き続き富山市より令和6年度から令和8年度までの富山市大沢野健康福祉センター・老人福祉センターの指定管理の指定を受けることができました。一方、大沢野地域スポーツ施設及び都市公園等につきましては、計画どおり令和5年度末で受託を終了することとなり、新たな指定管理者に引き継ぎ等を行いました。

1 会員数の増加(回復)策

令和5年度は、春の新規入会キャンペーン(4/1-5/31)と冬の新規会員募集(11/1-12/31)に取り組み、新たに2人以上同時入会で2,000円 OFF やプレゼント企画、引き続き2week お試し体験などを積極的に取り組み、年会員の増加につなげることができました。

2 ビジター利用の増加対策

令和元年から導入した「7・8月を除く毎週日曜日、小学生以下半額の日」、プール利用のビジターを対象にした「10回利用して、1回無料にするスタンプカード」発行についても引き続き取り組みました。令和3年度からは年間ビジター利用者の50%以上を占める7月・8月のビジターに9月以降利用できる半額券を配布し、リピートしてもらうよう努めました。LINE 公式アカウントを導入し、各種イベントや割引情報をリアルタイムに提供し、利便性と増収を図りました。両取り組みとも一定程度の効果が見られました。

3 健康づくり事業と介護予防事業

(1) 健康増進事業

利用者のニーズに応じて、トレーニングスタジオや屋内プールを活用した運動指導やレッスンを企画・実施しました。

① トレーニング利用者数	50,286名(前年度42,521名)
② レッスン本数	1,283本(前年度1,287本)
参加者数	15,822名(前年度14,072名)

(2) パワーリハビリテーション(パワリハ)事業

特定高齢者を対象とした運動器の機能向上を図るため、市直営のパワリハ教室については、1クール(令和5年9月6日～11月29日間:12回参加者数39名)を開催しました。また、パワリハ教室の修了者を対象とした「継続者専用教室」も開催し、33名の参加者がありました。

(3) 健康づくり情報の提供に関する事業

利用者への健康づくりに関連する情報を提供し、健康づくりの普及と意識啓発を図りました。

- | | |
|-----------------------|-----|
| ① 健康づくり情報の提供 | 随 時 |
| ② 健康づくりカウンセリングの開催 | 随 時 |
| ③ ホームページによる健康づくり情報の発信 | 随 時 |

(4) 健康づくり教室事業

利用者の健康増進及び保持を目的に、肥満・骨粗鬆症・高血圧・高脂血症等の生活習慣病(メタボリックシンドローム)やストレス等の予防・改善をめざす健康づくり運動講座を開催しました。また、託児サービス付き子育てママのリフレッシュ教室、子供の体力向上を目的としたジュニア教室やシニア事業等、幅広い年齢層への健康増進事業を行い、健康教室全体で延1,503名の参加者となりました。

富山市大沢野保健福祉センターからの受託事業や各町内会から依頼された健康教室において指導を行いました。

- | | | | |
|-----------|---------|------|---------|
| ① 健康づくり教室 | 112回開催 | 参加者数 | 1,503名 |
| | (160回開催 | 参加者数 | 1,859名) |
| ② 受託事業 | 17回開催 | 参加者数 | 293名 |
| | (6回開催 | 参加者数 | 147名) |

※ ()内は、前年度

令和5年度は、受託事業として新規に大沢野保健福祉センター主催「血管若返り教室」を開催しました。当施設を活用し、血管年齢測定、体組成測定、体力測定を行い、運動体験、運動メニュー提示しながら、運動習慣の継続や生活習慣改善に向けての行動変容へとつなげたところです。(延12回実施、184名参加)

4 富山市大沢野健康福祉センター(ウインディ)管理運営事業

施設利用者が、快適でゆとりある時間を過ごしていただくとともに、清潔で快適な施設環境の提供を目指しながら、明朗・迅速かつ公平な接遇サービスと施設維持管理の向上に努め、業務の効率化及び合理化を図りました。

また、利用の促進及び会員の増加を図るため、利用者ニーズを適確に把握した事業の企画および改善に積極的に取り組みました。(年間利用者数 274,616名 前年度 243,003名)

開館以来26年が経過し、設備の老朽化が課題となっておりますが、長年の懸案事項であった施設の根幹であるボイラー等熱源設備については、市において令和6年度に更新工事を行うこととなりました。

5 富山市大沢野老人福祉センター管理運営事業

富山市大沢野老人福祉センター及び富山市社会福祉協議会大沢野細入支所が使用する施設の維持管理と福祉プラザ施設使用等の管理運営を行いました。

高齢者を中心とした利用者に快適でゆとりある施設環境の提供に努め、安全で安心して利用できる施設として維持管理の向上を図りました。

(年間利用者数 24,541名 前年度 20,873名)

6 富山市大沢野地域スポーツ施設の管理運営事業

富山市大沢野地域のスポーツ振興と健康増進に寄与するため、利用者の安全性の確保、利便性の向上、施設管理の充実等に一層努め、都市公園等とともにレクリエーションの場としての活用や各種競技団体等と連携を図り、運営に努めました。

(上段:令和5年度 下段:令和4年度)

施設名	利用日数	利用者数
富山市大沢野総合運動公園 陸上競技場	171日	7,314名
	171日	7,538名
富山市大沢野総合運動公園 野球場	101日	7,718名
	115日	8,141名
富山市大沢野総合運動公園 多目的広場	76日	6,919名
	79日	3,375名
富山市大沢野グラウンド	13日	1,420名
	4日	460名
富山市西大沢運動広場	53日	2,136名
	44日	1,855名
(合計)	414日	25,507名
	413日	21,369名

7 富山市大沢野地域都市公園等の管理運営事業

富山市大沢野地域都市公園等においては、地域の良好な環境の保全と公共の福祉増進に寄与する公共施設として、利用者のニーズの把握、安全性・利便性・サービスの向上等を図りながら、利用者の健康増進、交流の場として利用が促進されるよう適正な管理運営に努めました。

施設名
富山市猿倉山森林公園
富山市大沢野中央公園
富山市大沢野中学校跡地公園
富山市大沢野総合運動公園自由広場
富山市春日健康ふれあい公園